

2020年度 発達支援つむぎ宮下ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。利用者アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

	質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	1 入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するにあたり安全な環境であるか。	3.60	ご利用者様が気持ちよくご利用できるように、日々の清掃を怠らず、整理整頓に心がけてまいります。
	2 職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.60	職員間の学びの場を設け、専門性の向上に努めてまいります。
	3 業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	3.80	引き続き、個々の休憩をきちんと確保できるように、業務分担等配慮いたします。
	4 ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		今の人員で、工夫協力しながら、お子さまにとってより良い環境を作っていくように努めます。
業務改善について	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.40	スタッフ一人ひとりが働きやすい職場を目指し、日々の業務の振り返りを意識できるように努めます。
	6 保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.00	アンケート調査を実施し、スタッフ間で情報を共有し、業務改善につなげていきます。
	7 この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	4.40	カフェスペースに掲示、他ホームページで公開しております。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.60	第三者評価未実施です。
	9 職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.80	法人実施のスキル講座やWeb講座に参加する機会を設けたり、ルーム内研修の実施も定期的におこなっていくように努めます。
	10 業務改善について、ご意見をお聞かせください。		職員間の情報共有を大事に、問題をその都度解決できるように努めていきます。
適切な支援の提供について	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.60	職員の認識の統一をはかり、実用性のあるアセスメントツールを活用していきます。
	12 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.80	アセスメント後、しっかりと策定会議を行い、しっかりと個々のお子さまの課題設定を見極め、支援計画につなげていきます。
	13 グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	4.00	個別支援計画をもとに、目標に沿ったねらいが盛り込まれているか意識しながら、プログラムの実施に努めます。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4.00	今後も、宮下ルームならではの体験を盛り込みながら、多彩な活動ができるように努めます。
	15 プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	4.00	指導前の打ち合わせやお子さまの様子によって臨機応変に対応できるように職員間の役割などについて確認します。
	16 支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	4.00	日々の振り返りや、ケース会議などを密に行うことで、より良い支援の向上に努めてまいります。
	17 日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.80	支援内容や保護者様とお話したことは、きちんと記録し、職員間で情報を共有しながらその後の支援へとつなげていきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	4.40	定期的なモニタリングをきちんと実施し、適用期間内に次期の個別支援計画を提示できるように今後も務めてまいります。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.00	児童発達支援ガイドラインにそって、複数の活動を組み合わせながら支援に取り組むように努めてまいります。
	20 適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		
保護者との連携について	21 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.00	利用の振り返りの際に、保護者様とおこさまについての課題や状況についてのお話を丁寧にお伝えすることを心掛けております。
	22 所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に務めているか。	4.00	関係機関連携加算の制度を説明し、所属園との連携を提案してまいります。
	23 児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に務めているか。	3.40	協議会や連携会議に参加したり、他事業所との連携に努め、情報共有に努めてまいります。
	24 児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.40	セルフプランでの利用者様が多いため、多くの情報をお伝えできるように情報収集に努め、新しい情報を保護者様にお伝えできるように努めてまいります。

保護者との関係機関連携について	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	3.00	地域の児童発達支援センターや専門機関と連携し、情報共有や助言をいただいております。
	26	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	2.60	今後、近隣市の子ども部会などへの参加も積極的におこなってまいります。
	27	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	4.60	併設園という環境のもと、子ども同士の関わり合いの中成長できる機会をさらに充実させていけるように努めます。
	28	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.80	地域子育て支援センターと連携し、地域に開かれた環境設定や、行事などの企画、実施をしております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	3.00	外部講師を読んでの研修や保護者へのペアレントトレーニングの開催についても検討いたします。
	30	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	31	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.20	安心してご利用いただけるように契約時には、丁寧にわかりやすい説明を心掛けております。
	32	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4.00	ご利用時に保護者さまからのご相談に応じております。
	33	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	3.40	今年度はコロナ感染という状況で、保護者会等の実施ができていませんでしたが、オンラインを使ったり、配慮した形で実施していけるように企画してまいります。
	34	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.00	ご意見をいただいた際は、その日のうちに共有し、神独に対応させていただきます。小さなことでも何かありましたら、いつでもお話しください。
	35	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	3.60	告知に関しては、配布文書や掲示しております。活動報告に関してはブログも開始しております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.00	日々の支援を振り返りながら、相手にわかりやすく伝えることができるように努めてまいります。
	37	個人情報の取扱に十分注意しているか。	4.00	PCは各個人のログインIDとパスワードがあり、他人が開くことができない仕様となっております。個人記録は鍵付きの書庫に保管しております。
	38	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	3.80	毎日、朝礼と夕礼で情報共有を行っております。業務日報への記載もしっかり行い、確認するように努めてまいります。
	39	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
非常時の対応について	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	3.60	法人共通の各種マニュアルがございます。園内研修で定期的に読み合わせやロールプレイを行うなどいざというときに対応できるように努めてまいります。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.20	月1回、保育園と合同で、様々な状況を設定しての避難訓練をおこなっております。
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	3.60	職員研修を実施し、一人ひとりの意識を高めてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.00	保育園と共有でヒヤリハット報告書があり、共有を行っております。様々な場面でのヒヤリハットを事前に見つけ、安全にお子さまが活動できるように意識を高めてまいります。
	44	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		今年度はコロナ感染という非常事態がありました。非常時の対応について再度見直し、安心安全にご利用いただけるように努めてまいります。
満足度について	45	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.20	お子さまが楽しく通っていると多数のご意見を頂戴いたしました。今後もお子さまの気持ちに寄り添った温かい支援が提供できるように、精進いたします。
	46	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することがあるか。	4.20	日々の支援を通して、成長を感じるエピソードや場面を保護者様と共有し、共に喜べるように今後も努めてまいります。また成長の軌跡を客観的にも検討し、児童発達支援業界全体の質の向上へつながるように努めてまいります。
	47	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		